

面で支えるコロナ禍の留学生日本就職支援 ～日本語授業連携の試み～

立命館アジア太平洋大学
キャリア・オフィス
特定職員 白石寛子
here369@apu.ac.jp

立命館アジア太平洋大学(APU)は「自由・平和・ヒューマニティ」、
「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念とし、
2000年に大分県別府市に開学。現在約5600名の学生がアジア太平洋学
部、国際経営学部で学び、そのうち留学生は半数にあたる約2600名で
あり、開学以来159の国、地域から留学生を受け入れてきました。



1. 留学生の就職支援の課題と開催までの経緯

留学生の不安、課題

- ・ 企業風土
- ・ 日本的雇用制度
- ・ 日本の就職スタイル

⇒ 自国のイメージが根強く理解しにくい。

就職活動に通用する日本語能力を身につけることが出来るのかの不安。

キャリア・オフィス

① 大学の特徴、強み、
経験を活かした就職支援を展開

② 先輩（内定者）の就活の経過を見ている

教員から見た問題

- ・ それぞれの母国からオンラインで授業を受けているため日本語学習のモチベーションが維持しにくい
 - ・ 学生同士がつながっておらず孤立感を深めている
 - ・ 日本での大学生活のイメージが出来ていない
- ⇒ 授業内ですべての課題をカバーすることは難しい

日本語教員からの依頼で「日本語中級」という必須の授業の最終週をキャリア・ガイダンスとして合同クラスにして開催。

2. キャリア・ガイダンスで目指した3つのこと

日本の就職活動についてよく留学生が誤解していることについて正しい情報を提供したい

英語でポイントをまとめた動画や資料を準備、後から参照してもらう形にした

先輩の体験談を聞き、日本語学習のモチベーションを取り戻し、日本への入国を楽しみにして待つ気持ちを作りたい

学生が自分事で考えられるように「大変だったこと」、「自分なりに工夫した点」を入れてもらった

不安や疑問を聞くことで孤立感を解消し、双方向にすることで満足度を高めたい

質疑応答の時間をメインで取り、直接疑問を解消できる機会を作った

3. 課題からアプローチしたキャリアガイダンスの構成

1セッション=45分

1.キャリアオフィスより (10分)



2.先輩 (内定者) より (7分×2人)

大学生活の過ごし方、就職活動について体験談



3. 質疑応答 (20分)

先輩 (内定者) のプレゼンに含んでもらったこと

- ・私の日本語学習のコツ、活用したもの
- ・大学生活の体験の紹介 (学内外の活動)
- ・マイモチベーショングラフの説明
- ・コロナ禍と私の大学生活
- ・今後の夢、計画
- ・後輩へのメッセージ

	2021年春セメ	2021年秋セメ
開催日	2021/7/15	2022/1/20
時間	1セッション45分 1限 (2セッション) 3限 (2セッション)	1セッション45分 1限 (2セッション) 3限 (2セッション)
開催言語	英語	英語
形態	オンライン	オンライン
参加学生数	130人 (2つに分かれる) 142人 (2つに分かれる)	60人 (2つに分かれる) 60人 (2つに分かれる)
先輩スピーカー国籍	ウズベキスタン、 ベトナム、ガーナ、インド	ウズベキスタン、韓国、ベトナム
スピーカー内定先業界(日本企業)	IT、コンサル、メーカー	教育、IT、就活中

4. 本学の留学生の日本語科目について



科目名(単位数)		必修・選択	登録
日本語初級 I (4)・II (4)・III (4)		必修	大学が登録
↓合格・免除			
日本語中級 (4)		必修	大学が登録
↓合格・免除			
日本語中上級 (4)	専修言語		
↓合格・免除			
日本語上級 (4)	日本語中級修了かつ 日本語中上級未修了		
↓合格・免除			
専修言語			
キャリア日本語 (4)	日本語プロジェクトD (2)	選択	学生が登録
日本語ビジネスコミュニケーションA (2)	日本語プロジェクトE (2)		
日本語ビジネスコミュニケーションB (2)	日本語プロジェクトF (2)		
日本語・日本文化 (2)	講義の日本語 (2)		
日本語・日本社会 (2)			
	日本語プロジェクトA (2)		
	日本語中級修了かつ 日本語上級未修了		
	日本語プロジェクトB (2)		

APUの日本語教育の特徴

入学時に日本語能力を問わないため、日本に入国するまで日本語を話したことがない学生も多数。そこから就職活動に通用するレベルに到達するために大変な努力と猛勉強を要する。

各授業修了時の到達目標の目安

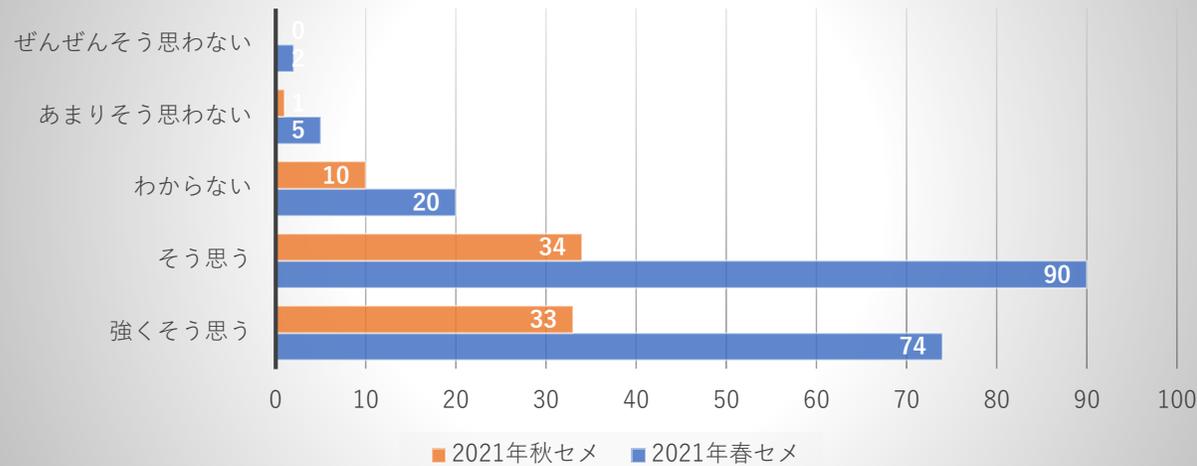
・日本語初級 I, II, III
→ JLPT N5~N4 合格レベル

2セメ (1回生後期) 対象
・日本語中級 → JLPT N3 合格レベル

・日本語上級 → JLPT N2 合格レベル

5. 効果測定、アンケートのコメント

このキャリアガイダンスが役に立つと思うか



2021年春セメ(n=191)
「強くそう思う」、「そう思う」
→合計85.8%

2021年秋セメ(n=78)
「強くそう思う」、「そう思う」
→合計85.9%

各回で高い満足度、提供した情報の有用性を見出しているという結果あり。

満足度の高い学生のコメント

- ・先輩のリアルな体験談から勇気をもらった
- ・将来のプランを考える上で有意義な情報だった
- ・日本で就職したいので日本語学習をがんばろうという気持ちになった
- ・目の前の機会をもっと有効に活用すべきだと感じた

満足度の低い学生のコメント

- ・私たちのほとんどは日本の国外にいる状況で日本にいる先輩の大学生活の話は想像がつかない遠い話だった
- ・オンラインでしか授業を受けられない自分たちの状況がますます悲しく感じた
- ・家業を継ぐ予定なのであまり関心を持てなかった

6. 質疑応答で寄せられた質問

【就活について】

- ・ 就活のプロセスはどういったものか、
- ・ N2レベルは就活時に必須なのか
- ・ 面接の前におけばよかったと思うことは何か
- ・ 日本企業はGPAよりアルバイト経験を重視すると聞いたが本当か
- ・ 就活には様々なプレッシャーが付きまとうと思うがどう克服したのか
- ・ 日本にはたくさんの留学生がいると思うがその中でどうやって自分を際立たせるか
- ・ 日本の会社は面接でどんなところを見るのか、どんな質問をするか
- ・ 面接の日本語は特にどうやって鍛えたのか
- ・ 海外経験、アルバイトは就活にどう影響するか、バイトはした方がいいのか

【今できること（母国にいて日本への入国を待っている状況）】

- ・ 母国にいるため日本語について特にスピーキング力が鍛えられない、
 どのような方法があると思うか
- ・ パンデミックの中、どんなスキルを鍛えればいいのか、お勧めのスキルはあるか
- ・ 日本語を学び始める際のハードルを特に高いと感じるが、この段階をどう乗り越えたのか
- ・ 留学生としての不利な部分はあるか、ご自身の就活でこれは失敗だという体験はあるか
- ・ 日本語を「書く」行為に慣れていないのだが、大丈夫か
- ・ 自分の国でインターンシップをしようと思うがどう思うか、これは就活と関係あるか

7. 今後に向けて

● ガイダンス後のフォローを手厚くする

設定時間内で提供できる情報には限りがあり、多くを詰め込みすぎると消化不良になってしまう。事後アンケートでガイダンス内で対応できなかった質問を集約し、後日回答を先生方に対してお送りする。回答をその後クラスで共有してもらう。

→ 点で終わらないキャリア支援を目指す

数多くのコンタクトを持つことで、オフィス利用時のハードルを下げる

質問データを集約することで学生の傾向の把握に努める

